

# 第3回豊富町まちづくり協議会が開催されました

平成23年2月2日(水)町民センターにおいて、第3回豊富町まちづくり協議会が開催され、定住支援センター(保健、福祉、多世代交流を目的とした複合施設)の整備にかかる検討がおこなわれました。前回の協議会において、議論のありました浴場の機能については、定住支援センターへの整備をおこなわず、豊富温泉ふれあいセンターの活用を図ることとされ、定住支援センターの機能などについては、次の「定住支援センター整備構想(素案)」に記載のとおり整理されました。

今後は、年度内に各機能の具体的な利用形態や必要面積などを整理し、平成23年度当初に、敷地ゾーニング調査の実施、プロポーザル提案要件の検討を進め、第4回協議会を5月頃に開催する予定となりました。また、平成23年度に予定している基本実施設計では、より住民のニーズを反映した施設とするために、設計者と、まちづくり協議会や管理運営主体の代表などからなる「(仮称)設計協議会」を設置し、具体的な設計の検討を図るようになりました。

## 1 定住支援センター整備の目的

定住支援センターは、保健センターの新設にあわせ、町内の老朽化した公共施設を統合し、①保健センター機能、②地域包括支援センター機能、③多世代交流センター機能の3つの機能を有する複合交流施設として整備するものです。保健、福祉、生きがいなどのサービスを提供し、様々な住民活動を通して多世代の交流が生まれることにより、住民が健康で、安心して、豊かに暮らせるまちづくりが推進され、豊富町での定住環境の整備が図られます。

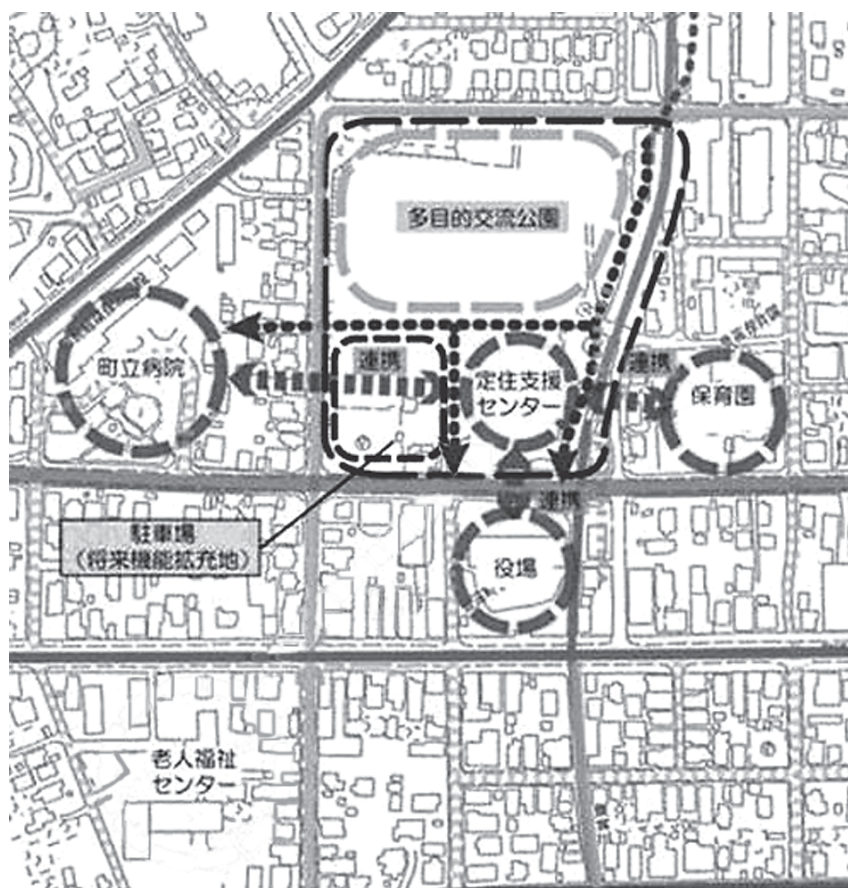
また、人口減少と高齢化が急速に進んでいる当町において、住民サービスの拠点施設として多くの住民が利用することにより、街なかの活性化が図られることが期待されます。

## 2 建築位置と土地利用

建築位置：豊富中学校跡地

敷地面積：約3.2ha

当該敷地内に、定住支援センターおよび駐車場を配置する他、屋外イベントやウォーキングコース、四季折々の草木などのある多目的交流公園を一体的に整備します。



定住支援センター建築位置図

# 定住支援センター整備構想(素案)

## 3 施設内容

### (1)施設のコンセプト

- ①子どもから高齢者まで、あらゆる世代が気軽に利用できる  
中高生が学校帰りに／子育てお母さんお父さんが子どもを連れて／勤労者が仕事の帰りに／高齢者や障がい者が一人でも／休日に家族で
- ②多世代がふれあえる  
高齢者が子どもに読み聞かせを／中高生がボランティア活動を／家族で来てみんなが楽しめる
- ③市街地に賑わいができる  
様々な活動やイベントが開催される／賑わいが形成される
- ④ゆるいコミュニティ  
目的がなく立ち寄っても楽しい／そこにいけば誰かに会える／一人でも楽しい

### (2)構造

原則として平屋とし、建物の構造については特に定めません。

### (3)面積

延べ床面積は、2400㎡～2800㎡程度とします。

### (4)施設のイメージ

明るく開放的な施設／子どもから高齢者まで誰もが使いやすいユニバーサルデザイン／変化する時代のニーズに対応できる可変性の高い施設／目的がなくても立ち寄りやすい／多くの世代がふれあえる／屋外空間と一体的に機能する

### (5)機能

保健センター機能、地域包括支援センター機能、多世代交流センター機能からなる複合交流施設で、具体的な機能を別表8頁に示しています。施設整備にあたっては、それぞれの機能の使用頻度や利用時間などを考慮して、効率的な空間構成と利用に配慮します。一体的な管理運営をおこない住民ニーズに的確に対応した施設とします。

別表…定住支援センターの機能については8頁をご覧ください

## 4 既存施設の統合、連携

現在使用している、母子健康センター、中央会館、老人福祉センター、福祉センターについては、これらの機能を、新たな定住支援センターと町民センターなど他の施設に統合することとします。統合される施設については、利用者のサービス低下にならないよう、適切な機能分担をおこないます。

なお、老人福祉センター「浴場」については、豊富温泉ふれあいセンターを活用することとし、利用者のサービス低下を補うため、温泉の優待券の発行や市街地から豊富温泉までの交通の確保を図ることなどを検討します。

## 5 施設の管理運営
















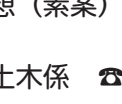
利用者にとって使いやすく、かつ経済的、効率的な運営管理をおこなうため、NPO団体などによる指定管理と、ボランティアが主体となった運営管理が望ましいと考えています。

読み聞かせやイベントの開催、図書の購入などにおいて、住民ニーズに迅速に対応するためには、住民が直接運営管理に参加できるような仕組みやボランティアスタッフの育成が必要となります。



# 定住支援センターの機能について

別表

機 能		機 能	具 体 的 な 機 能 ・ イ メ ー ジ
保健 包括	①保健センター機能		保健センターとして、健康診断、検診、予防接種、保健相談・指導、母子保健事業および事務をおこなう。
	②地域包括支援センター機能		社会福祉協議会およびヘルパーセンターの執務、介護予防教室などをおこなう。
コ ア 支 援 機 能	③研修活動機能		会議、研修、調理教室やパソコン教室などのサークル活動をおこなう。
	④図書学習機能		図書館機能（図書閲覧、雑誌・新聞閲覧など）、インターネット、CD・DVD鑑賞、自習スペース、読み聞かせ・紙芝居・人形劇、郷土資料の保管・閲覧など。
	⑤憩い		くつろぎの空間、利用者の休憩や待ち合わせ、おしゃべり、談話、バスの待合いの機能など。
	⑥喫茶売店		パンやアイスクリームなどの軽食・喫茶、地元の特産品などの販売、売店など。
	⑦ギャラリー機能		学生やサークル活動、住民などの作品の展示、アート作品の展示、移住・住まいの情報（空き家、空き地情報）、町の広報、サークル活動などの掲示、豊富温泉などの観光スポット・イベント開催案内の情報発信などをおこなう。
	⑧管理機能		施設の管理事務をおこなう。
多 世 代 交 流	⑨スポーツ		ストリートバスケットや卓球などの軽いスポーツやダンス、ヨガなど気軽に身体を動かせる機能。予約不要の開放的な利用とする。
	⑩機能回復・ジム		ランニングマシンやエアロバイクなどの運動器具を設置する。高齢者のリハビリとしての利用を含め、幅広い住民を対象としたトレーニングができる機能とする。
	⑪児童活動		学童保育、放課後児童の活動の場。お絵かきや工作、ボール遊びなどができる。
	⑫音楽スタジオ		音楽バンドの練習やカラオケなどができるスタジオ。防音性能を有し、ドラム、アンプ、カラオケなどの楽器や機器を装備する。
	⑬ホール		演奏会、講演会、映画の上映などができる多目的ホール。座席を有し(可動)、200席程度の収容とする。楽屋、控え室などを含む。
	⑭幼児遊戯		幼児～小学校低学年までの利用を想定する。滑り台やネット遊具などを装備し、お父さんお母さんが子どもを連れて遊べる。
	⑮イベント		朝市やフリーマーケット・ワンボックスショップなどをおこなえる。
屋外空間			敷地内に、イベント、ウォーキングコース、四季折々の木や花のある多目的公園を整備し、定住支援センターと一体的な整備を図る。
その他			<ul style="list-style-type: none"> <li>保健センター機能は、感染症の発生時の対応などのため、保健センター以外の部分と区分できる平面計画とし、管理を含め独立して機能できることとする。</li> <li>検診などにおいて、建物からレントゲン車へ直接乗降できるよう考慮が必要。</li> <li>災害時の防災拠点施設として、建物内に総合監理、避難施設、備蓄倉庫などの機能を持たせる。</li> <li>温泉へのバス、スクールバス、路線バスの停留を想定し、定住支援センターの利用の利便性向上を図る。施設内に待ち合いスペースなどを設ける。</li> </ul>

定住支援センターの整備構想（素案）に関する皆様のご意見ご要望などをお聞かせください。

問い合わせ先▶ 役場建設課土木係 ☎82-1001(内線152番) FAX 82-2806

意見箱